

いくさか 議会だより

北海道視察

7月3日～7月5日



水素自動車「MIRAI」



ソーラーパネル



鹿追町役場



帯広空港



ジャガイモ畑

表紙のひと言 P13に関連記事

主な内容 6月定例会 (6月13日～21日の9日間)

新しい議会体制…2P

議会改革…6P

村政そこが知りたい〔一般質問〕…7～11P

新しい議員を紹介します…12～13P

村民の声…14P

第 **162** 号

2023.7.20

長野県生坂村

新しい議会体制

所属委員会

委員会名	職名	氏名
議会運営委員会	委員長	平田 勝章
	副委員長	字引 文威
	委員	島 幸恵
	委員	山本 吉人
総務建経常任委員会	委員長	山本 吉人
	副委員長	平田 勝章
	委員	太田 讓
	委員	吉澤 弘迪
社会文教常任委員会	委員長	島 幸恵
	副委員長	望月 典子
	委員	藤澤 幸恵
	委員	字引 文威



副議長
藤澤 幸恵



議長
太田 讓

「新しい議会がはじまりました」

令和5年5月臨時会

〈臨時会の概要〉

生坂村議会申送りに伴い5月12日に臨時会が開かれました。

議長・副議長の選任は選挙で行われ投票により、議長に太田讓議員が、副議長に藤澤幸恵議員がそれぞれ選出されました。

また、議会運営委員会と2つの常任委員会の委員等の選任が行われるとともに、監査委員の選任について同意されました。

広域及び一部事務組合議員

議会名	氏名	氏名
松本広域連合議会議員	太田 讓	
松塩筑木曾老人福祉施設組合議会議員	藤澤 幸恵	
安曇野松筑広域環境施設組合議会議員	太田 讓	
穂高広域施設組合議会議員	太田 讓	藤澤 幸恵

議長あいさつ

このたび、生坂村議会議長に就任いたしました。当議会は今、資質向上と改革が求められています。同時に、二元代表制の一翼を担う責任と重要性を認識し、これまで以上に行動し、多様な機会を通じて村民の声を聴取しながら、その声を村政に反映していくとともに、関心を持っていただける議会となるよう一丸となって取り組んで参ります。

生坂村の将来を担う子供達のために持続可能な村づくりと、村民の皆様の安心安全の向上を目指して、議会民主主義のルールに則り、公平・公正な立場で円滑な議会運営に努めるとともに、次代に繋がる改革を進めて参ります。これからもご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副議長あいさつ

このたび、副議長に就任いたしました。議長の補佐役及び、議員間のバランスとして議長を支えてまいります。また、副議長は「議会だより」の編集長も兼務しますので、村民の皆さまが読みたくなるような工夫を凝らし、議会活動をわかり易くお伝えできる紙面づくりを目指してまいります。

今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

議案等の審査結果

案件	名 称	内 容	結 果	
報告	村の義務に属する和解及び損害賠償の額（専決処分）	物損事故：損害賠償の額28万円	全員賛成 承認	
	税条例の一部改正（専決処分）	関係法令の一部改正に伴う条例改正		
	国民健康保険税条例の一部改正（専決処分）			
	令和4年度	一般会計補正予算（専決処分）	歳入（地方交付税1億3,855万円） 歳出（各基金積立1億3,243万円）	報告のみ
		村営バス特別会計補正予算（専決処分）	国庫補助金（△283万円） 一般会計繰入金（283万円）	
		一般会計繰越明許費	国道19号防災工事に伴うCATV施設移設工事 ほか4事業 総額2,351万円	
簡易水道特別会計繰越明許費	下生野築堤工事に伴う送水管移設工事詳細設計 事業396万円			
条例案	さぎの平防災拠点施設の設置及び管理に関する条例案	施節の設置利用に関して必要な事項を定める	全員賛成 承認	
	税条例の一部を改正する条例案	関係法令の一部改正に伴う条例改正		
	印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例案			
補正予算案	令和5年度一般会計補正予算	次ページを参照	多数賛成 可決	
	令和5年度生坂村簡易水道特別会計補正予算	歳入（繰入金227万円） 歳出（経営管理費227万円）		

事件案

古坂地区介護予防拠点施設の指定管理者の指定について	指定管理者：古坂区長 野澤 文彦 指定期間：令和5年7月1日～令和10年6月30日	全員賛成 同意
日岐公園の指定管理者の指定について	指定管理者：日岐区長 安坂 清人 指定期間：令和5年7月1日～令和10年6月30日	

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任	小山博章（昭津）再任（任期：令和5年7月1日～3年間）	全員賛成 同意
------------------	-----------------------------	------------

その他の事項

請願	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める 請願書	提出者：松塩筑地区教育関係 七団体連絡協議会	全員賛成 同意
陳情	国に対し、適格請求等保存方式（インボイス制度）の 延期・見直しを求める陳情書	提出者：インボイス制度を考えるフリーランスの会 代表 阿部 伸	継続審査

第2回議会臨時会 5月12日

案件	名 称	内 容	結 果
報告	令和5年度 一般会計補正予算（専決処分）	歳入歳出額を1,116万円追加し、総額を20億3,116万円とする。	全員賛成 承認
補正予算案	一般会計補正予算	歳入歳出額を2,822万円追加し、総額を20億5,938万円とする。	多数賛成 可決

5年度補正予算の内容（主な収支）

※数値は四捨五入

■一般会計 〈補正額〉1億9,667万円 〈総額〉22億5,605万円

歳 入		歳 出	
分担金及び負担金	27万円	議会費	28万円
国庫支出金	9,792万円	総務費	3,164万円 行政受付デジタル化489万円、元気づくり647万円、貸付金991万円
県支出金	1,020万円	民生費	△61万円 元気づくり92万円
財産収入	6万円	衛生費	1億2,172万円 簡易水道特別会計繰出金227万円、脱炭素先行地域づくり1億1,933万円
諸収入	1,232万円	農林水産業費	666万円 南部交流センタートイレ改修206万円、新規就農補助375万円、林道改良工事519万円
村債	7,590万円	土木費	1,787万円 村道改良工事1,996万円、下生坂弥次郎沢土砂撤去242万円
		消費費	860万円 日岐区 防災公園整備費工事750万円、消防団備品108万円
		教育費	312万円 元気づくり256万円
		災害復旧費	579万円 宇留賀農地災害復旧198万円、林道雲根線災害復旧381万円
		予備費	160万円

総務建経常任委員会

付託された主な審議意見

生坂村古坂地区介護予防拠点施設の指定管理者の指定について

(全員賛成)

生坂村日岐公園の指定管理者の指定について

(全員賛成)

生坂村さぎの平防災拠点施設の設置及び管理に関する条例案

(全員賛成)

問 条例案の内容に住民主導の活用とつづことを協調したほうがよいのでは。
答 必要ならば盛り込む検討もします。

一般会計補正予算

(全員賛成)

総務課関係

問 「創造の森」プロジェクトによるアースオープン東屋の建築、バイオトイレの設置、設計、施工費、

特に主な工事費の金額の妥当性など、十分な検討、調査をしているのか。
答 厳正な調査、検討、監査をし、着実に進めていく。

問 オフグリッドハウスなど建設物が安全に設置できるのか(予定されている雲根地区の地盤)。また、その地区の防災も考えていく必要があるのではないか(防火水槽の設置等)。
答 十分な調査をしていきたい。

特別会計予算

簡易水道

(全員賛成)

陳情

国に対し適格請求等保存方式(インボイス制度)の延期、見直しを求める陳情について。継続審議と決定。

社会文教常任委員会

付託された主な審議意見

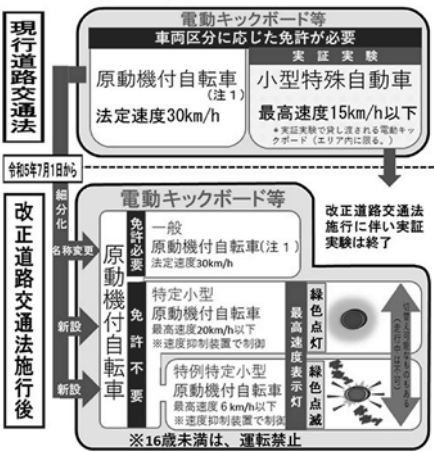
生坂村税条例等の一部を改正する条例案について

(全員賛成)

問 令和6年4月から、森林環境税が徴収される。徴収方法は。

答 森林環境税(国税)は個人住民税と合わせて、給与からは12回に分割して、普通徴収の方は年間全4期、4分割されて徴収される。

問 原動機付自転車の新たな交通ルールが、令和5年7月1日から施行される。生坂村税条例第82条(1)原動機付自転車 エ 3輪以上のもの、とは具体的にどのようなものか。



答 電動キックボードで法定速度が時速30kmのもの。

生坂村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例案について

(全員賛成)

問 改正で可能になることは。

答 スマートフォンにアプリ(マイナンバーカード)をダウンロードし、マイナンバーカードを登録すると、カードがなくても本人確認ができ、電子証明書を取得できる。

意見 個人情報漏洩など問題が各地でおこっている中で、デジタル化を進めることについて心配する声がある。

一般会計予算

(全員賛成)

健康福祉課関係

昨年度全戸配布した公共交通機関の使い方についてのパンフレットを基に、今年度は元気づくり支援金を利用して、以下の事業を行なう。

○村営バスの乗り方や移動風景の映像を作成し、ICNやYouTubeで放映する。

○QRコードなども活用し、移動手段の見える化を図る。

○体験ツアー、イベントなどを開催する。

問 バスの運営は総務課の担当だが、連携がとれているのか。

答 地域支えあい推進会議に総務課の担当が参加して連携はとれている。高齢者の方から公共交通機関の使い方が分かりづらいとの声がある。健康福祉課では、あくまで乗り方などの情報を提供している。



問 高齢者に特化したYouTubeやウェブサイトをつくるのか。

答 村外にいる高齢者の家族の方に、免許を返納しても安心できるように知らせる役割もある。

教育委員会関係

一星亭の認知度がまだ低いいため、

元気づくり支援金を利用して村民と共同で片づけや、見学をし周知している。



一星亭内部



問 どのような学習会をするのか。地域住民10〜20人を対象とし、

3〜4回程度を考えている。知識のある方に、建物の解説をしていただきながら片づけたり、学習をしたらいい。

問 顕彰会が借りている展示物を台帳等を作成して、預かり証を出した方がいいのか。

答 教育委員会でははっきり分らないことが多く難しいが、村内の顕彰会の方の協力も得ながら進めていきたい。

補正予算外 B&G海洋センター・プールに設置される救護室について

問 常にエアコンを入れておくのか。

答 熱中症対策の設備だが、見学に来られる親御さんにも使ってもらいたいことを想定している。大きな施設ではないので急な場合もすぐにエアコンを入れて使えるようにしておく。

問 濡れた足で入るとき、床が滑ら



ないか。

答 状況を見ながら対応していく。

小学校の粗大ごみ処分について

問 小学校で不要になった机椅子を、希望者に取りに来てもらうてはと意見を3月に出したが。

答 子どもたちのいない夏休みに、業者に運び出してもらった。その時に村民に周知して、希望者に取りに来てもらう。

請願

請願5-1 「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願」

(全員賛成)

意見書を提出する。



議会改革検討会 season4

議会改革検討会座長 平田勝章

平成29年から始まった議会改革検討会、この6月から4期目(送り期間を1期としています)を迎えました。これまで①住民に開かれた議会②議員のなり手不足問題など取組み、談話室や一般質問のYouTube配信、読みたくなるような議会だよりの制作をおこなってきました。

コロナも5類に移行となり、懇談会など

対策を講じて開催できそうな状況となりました。

議会としても4月の補選により仲間も増えましたので、新たな気持ちで議会と住民の皆さまとの情報共有ができるよう活動していきたいと考えております。

6月の全員協議会で議長より4期目の検討会に諮問を頂いたので進めてまいります。

【諮問項目と検討内容】

①議会懇談会の実施 担当:望月、藤澤

- ・談話室「山彦」はこれからも常設しておこなう。
- ・地区の懇談会、各団体との懇談会の実施に向けて打合せ作業に入る。

②資質向上に向けた研修等勉強会の実施 担当:吉澤、字引

- ・専門の講師を依頼し講演をおこなえるよう調整していく。
- ・資質も大事だが、議会活性化のための勉強も必要と考え検討していく。

③子ども議会(中学校・小学校) 担当:山本、島

- ・今年度はカリキュラムに組込むことが難しい。来年度に実施できる話し合いを進めると同時に今年度おこなえることを模索していく。

④議会制度の検討 担当:平田、太田

- ・議会憲章について
当議会は村民憲章を推進してきているので、更に議会憲章が必要か検討していく。
- ・コンプライアンスの明文化
規則・規範について議会会議規則に明文化するか、検討していく。
- ・議会だよりモニター
定期的に意見を伺うことで、より読みやすい議会だよりに繋がると考え実施に向けて今後、検討していく。
- ・委員会への専門分野の参考人招致
村内で農業、建築・土木など専門的な職業の方を対象の審議に招致して意見を頂き、より深い審議を目指すと共に議会に関心を持ってもらう機会とする。
- ・報酬について
議会としての検証はしたが、引続き研究・検討をしていく。

一般質問

6月
定例会

村政そこが知りたい!!



7名の議員が一般質問



一般質問とは…「議員がフリーテーマで執行部に質問・提案を行う場」で、議員独自のカラーが出せる貴重な機会です。村民の生活に関わる様々な声を村政に届け、議論が行われます。※質問は一般事務に限ります。

8P〔上〕 吉澤弘迪ひろみち 議員

- 生坂・池田間道路のトンネル化実現への運動について

8P〔下〕 字引文威ふみたけ 議員

- 長谷久保の火災について
- 消火栓ペイント作戦から感じた消火設備の管理について
- 昭和電工広津発電所の受水方法の対策の実施状況について

9P〔上〕 望月典子のりこ 議員

- 带状疱疹ワクチン予防接種の補助について

9P〔下〕 山本吉人よしと 議員

- 雲根地区創造の森プロジェクトについて

10P〔上〕 平田勝章かつあき 議員

- 防災士の役割と現状について

10P〔下〕 島幸恵ゆきえ 議員

- 地域電力会社について
- マイクログリッドなどの事業費について
- 村民の意見をどの様に取り入れるかについて
- 雲根「創造の森」事業と村のかかわりについて

11P〔上〕 藤澤幸恵さちえ 議員

- 村の行事イベント開催の考え方について
- 村民参加の村づくりについて
- 人口減少・移住対策について



吉澤弘迪議員

生坂・池田間トンネル化実現のための
運動の推進を
村長 期成同盟会で運動を強力に
展開している

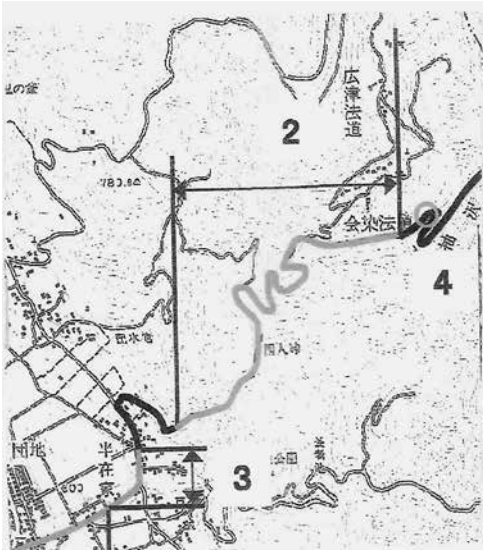


問 生坂・池田間のトンネル化運動は現在どのように展開しているか。又その経過は。

振興課長 池田・松川・生坂村で上生坂信濃松川停車場期成同盟会を結成し県会議員立会いのもとに10数年前から毎年長野県建設部に要望活動を行ってきた。また、村独自でも県知事、県選出国会議員に要望を行っている。

問 生坂・池田間の道路のトンネル化運動を強力にするには現在の期成同盟会とは別に生坂村と池田町でトンネル化期成同盟会をつくり強力に運動を展開することが必要と考えるが。また、議員も「池坂やまびこ会」「東筑摩郡議員大会」で要望し、バックアップする必要があると考えるが。

村長 期成同盟会でこの道路の池田町半在家から池田町法道地区間のトンネル化の運動を行い県に調査費の計上を要望しているの現在、この同盟会で意思統一して



トンネル化地点

一丸となって要望したい。また、議員活動で要望活動を行うことは大きな推進力となるので是非支援してほしい。

問 この運動の県とのパイプ役を担っていた県議が不在となつてしまっているが、今後のパイプ役をどの様に考えているか。

村長 東筑摩郡村長会では、県とのパイプ役として自由民主党の萩原県議、青木県議の二名の県議をお願いすることにした。また、トンネル化の運動については当村は宮澤県議に引き続きご協力をお願いしたい。



字引文威議員

近年の住宅火災について行政の対応は
総務課長 火災予防を自分のこととして
捉えてもらえるよう広報活動を



問 ここ数年、当村では毎年のように住宅火災が発生している状況に対し行政としてどの様に考えているか。

総務課長 焚火などを実施する場合は管轄する消防署への届出が義務付けられている。役場に届出書類と受付ポストを設置。こうした届出制度への理解をしていただくことも火災予防の観点からは重要。火災予防・火災時の対応等の講習等は意義あるものと考え、消防署や消防団と連携し開催できるよう検討する。

問 初期消火の重要性について、区の消防協力隊の協力を得て、消火手順の確認と消火訓練を合わせ、「初期消火の大切さ」の理解を深めるよう行政からも後押しを。

総務課長 住民の皆様には、「消せから大丈夫」とは思わず火災を発生したら最悪を想定した行動をお願いしたい。自分を含めた人命を第一に考え、被害を最小限に留める行動が初期消火。

問 消火栓ペイント作戦から感じ

た消火設備の維持管理方法についての対応は。



副村長 消防水利のデータベース化ができないか検討を始めたところ、防火水槽の位置や大きさ、消火栓の位置と格納箱の位置、格納資機材について写真を付けデータベース化し、現場で消防団員との情報共有が可能かなど具体的な検討を進める。

問 高津屋森林公園はキャンプサイトが好評で利用者の増加も。逆に火災発生の懸念。それには消防水利として利用出来る「昭和電工吐水池」への可搬式送水ポンプの搬入路の整備、消防団員による取水実地訓練など必要では。

総務課長 ポンプ搬入路整備について、現在吐水池のフェンスまで道型があり、どういったことが村として可能か、この利用を含め調整を続けていく。



望月典子議員

带状疱疹ワクチン予防接種の補助を

村長 担当部署としてしっかり研究、検討して決めたい



問 最近、带状疱疹という病気に関心を持つ人が多くなり、ワクチン接種を希望する人も増えている。高齢者に発症することが多く、神経系統を犯されると重篤な結果になる。ワクチンは2回打つのが効果的だが、費用は4万円以上と負担が大きい。全国のような自治体でワクチン接種費用の補助が始まっている。

当村も補助をしてほしいのだがどう考えるか。

村長 現在、村では高齢者に向けてインフルエンザ予防接種と肺炎球菌ワクチン接種の助成をおこなっているが、带状疱疹は健康教育などでも、参加者の話題にのぼることも多く、住民の関心は高いと思われるので来年度に向けた助成の研究、検討を進めたいと考える。

問 研究・検討の具体的な内容は。

村長 他の市町村の補助額を参考に、当村の状況、他の接種との公平性、あらゆる角度からしっかり検討したい。

問 带状疱疹ワクチンは任意接種のため、県、国からの補助金がないが、助成の財源は。

健康福祉課長 村の単独事業で一般会計になると思うが、今後使える補助金が出てくる可能性も視野に入れている。

問 当村は高齢化が進み、時間的猶予がない。補助を首を長くして待っている住民もいる。次回9月の定例会で予算を示してもらおう事は可能か。

村長 国、県の定期接種化の動向を注視している市町村は多い。当村も今年度は補助額、重要性等を見つくり検討し、来年度からと考えているが、猶予がないという指摘ももっともであり、まずは担当部署でしっかり動向も注視しながら検討し、9月の定例会に補正予算で計上できるか、そこも検討したい。



山本吉人議員

「創造の森」プロジェクトへの

村長 建造物の管理等、村としてきちんと管理、維持していきたい



問 この「創造の森」プロジェクトにどう地元住民が関わってほしいのか具体的に教えてもらいたい。

総務課長 「創造の森」事業計画としては、令和6年に脱炭素先行地域づくり交付金を活用して、オフグリッドハウスの建設を予定している。周辺を含めて全体像については今年度、地元と協議をしながら検討していく。また、元気づくり支援金を活用した雲根地区でのイベントも企画していく。

問 オフグリッドハウス、野菜作り等に雲根地区の水(天然水)を使用したいと聞いている。現在、雲根地区の住民は悪戦苦闘しながら水の管理保全をしている。管理する方々も高齢者が多く、水源地までの経路も険しくて困難である。命の源の水、それも天然の湧き水を守ることはプロジェクトの中でも大きな課題と考えている。よって、プロジェクトの中で雲根地区の水の保全整備が可能であるのか。

村長 村で考える「創造の森」は、「環境」「自然」「農業」をテーマに事業展開構築し、事業を通じて水の活用や、保全管理について地元の方と共に考えていきたい。高齢化により水道施設の維持管理に支障をきたしているとの意見もあり、簡易水道有収率対策プロジェクト会議で、雲根地区を、村の簡易水道給水区域に取り入れることも含めて検討していきたい。

問 「創造の森」プロジェクトを通して、子供や若者にこれからのエネルギー問題や農業のやり方などを学べる機会を作ってもらいたい。

村長 令和4年度のアースオーブンワークショップや収穫祭を通して、雲根地区でのイベントでは若い世代を含めて106名の方が参加している。松本山雅と保育園児の大豆まき等も実施しており、今後雲根地区での脱炭素の実践の場として活用、事業をつなぐ。



平田勝章議員

防災士の役割と現状について

総務課長 自主防災組織において活動がしやすい環境を整えていきたい



問 災害に対して防災士に何を期待していききたいか。

総務課長 防災士は、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、自主防災組織で行う訓練に参加したり、講師となるなどの活動により災害対応にあたっていただくことを期待している。

問 防災士の資格取得の経緯は。

総務課長 令和元年度の総合防災訓練において、防災士の島田亜紀先生を講師に招き「助けられる人から助ける人」と題し、防災士の役割や活動について講演をいただいた。令和2年度に長野県地域発 元気づくり支援金を活用して、取得に係る経費は事業の中で負担し、防災士を育成する事業を計画実施した。

問 現在防災士と防災組織とのかわり方は。

総務課長 災害発生時には協力をいただいたり、自主防災組織内での活動も期待されているが、今後は区長会でもお話しをし、活動しやすい環境づくりに努めていく。

問 防災士の資格取得について、個



令和元年度生坂村防災講演会

人が受験する場合の補助金の制度や防災士が村内での講師の役割などの規約は作れないか。

総務課長 防災士の資格取得については、令和2年度から元気づくり支援金を活用した村の事業により取得をしているので、取得費用や申込手續等村で行った。今後村の事業として計画して行く場合には同様に行っていければと考える。個人的に資格取得を目指す方がいる場合には受講費用等の助成ができるよう、要綱等必要な整備について検討していく。



島幸恵議員

脱炭素事業経営の見通しは

総務課長 持続可能な経営を前提に進める



問 7月に設立される地域エネルギー会社の経営の見通しは。

総務課長 借入による返済を事業ごと、PPA事業15・4年、マイクログリッドで19・5年、木質ペレットで17・7年後には投資回収が可能となる見込みでの利益を試算しており、持続可能な経営を前提に進める。

問 地域エネルギー会社設立において、出資金や発起人など、村民に説明、承認を受けるべきだったのでは。

村長 3月定例議会のほか、村の皆さんには区長会議、ゼロカーボンフォーラム、各区の総会や広報いっさかを通じてお示ししている。今後各区で説明会を開催する。会社の内容に関して住民説明を前提の上で、決定機関である議会での承認に諮ることが適切であると考えている。

問 事業費と補助金の差額の融資を金融機関から受ける時、村が債務保証をする必要はないか。

総務課長 債務保証の設定は金融機関の判断であり、今後の手続きや協

議により決定される。

問 村が直接行う事業費で、過疎債で補填されない1億8千万円はどこからくるのか。

総務課長 エネルギー会社自体の事業の借入分と合わせ、15年程度での会社運営での設備利用料収入による投資回収の内数として見込んでおり、エネルギー会社から村への回収分として支払われるように試算している。

問 住民の意見を受けて、それを採択するかしないかはどこで誰が判断するのか、また、その判断の基準となるものは何か。

村長 ご意見の内容により、ゼロカーボン推進プロジェクト会議で検討する。また、採用の判断は、交付金要件の範囲内で、環境省と相談の上、最終判断を行う。

問 今後創造の森事業と、村がどのようにかかわっていくのか。

村長 脱炭素事業をテーマにイベント事業、交付金を活用したオフグリッドハウスの建設を村として実施。周辺は財源手法を含めた一体的な整備を計画していく必要がある。



藤澤幸恵議員

これからの行事・
イベントの開催について
村長 関係者や住民の
意見・要望を集約し検討する



問 コロナの5類移行に伴い、今後村の各種行事が通常に開催されると考えられる。人口減少、高齢化の中で各地区の役員の負担、運営側の負担が懸念される。今年開催が予定される赤とんぼフェスティバルについても、住民が楽しめる行事となるよう見直しが必要と考えるが。

振興課長 開催になれば参加される村民の皆さんの負担も再び発生する。過度な負担とならないよう、参画する皆様からご意見、要望をいただきながら、感染対策による制限や見直しも含めて検討する。

問 発想を変え、各ブースを村内外の各企業や団体から公募するなど村民の負担が軽減されるようなことは考えにあるか。

振興課長 意見を集約し検討する。

問 各種行事を集約するという意味で、村民運動会と小学校の運動会の合同開催は考えられるか。

教育長 関係者や住民の意見を聞き可能か検討する。

問 人口減少、地域の高齢化に伴い、各地区、団体が運営を行うにあたり、抱える現状の課題についての認識は。

副村長 極端に世帯数や人口が減少している区については過去に合併を協議したがその時は実現できなかった。近い将来役員のなり手不足は深刻な問題になると考えるので検討する。

問 昨年の移住者数・転入手続き時に暮らしのアドバイス等は。

住民課長 全体で49名の転入。村全体で少子高齢化という状況であることを伝え常会へ加入し、地区の環境整備や行事に参加していただくよう伝えていく。また地域コミュニティの重要性については、地域住民の生活を地域で守るという意味もあるので、高齢者や子供の安全、災害時等の際には、地域で声を掛け合ったりサポートし合ったりできることなどを伝えていく。

議 会 日 誌

4月

- 18日 やまなみ荘定例会
- 20日 いくさかの郷定例会
- 24日 生坂村長寿会連合会総会
- 27日 ゼロカーボン推進プロジェクト会議/
高津屋森林公園管理組合総会
- 28日 生坂農業未来創りプロジェクト会議
- 28日 山村活性化事業監査・観光協会監査・例月出納検査

5月

- 12日 議会全員協議会・第2回臨時議会
- 15日 生坂村商工会総会
- 19日 やまなみ荘定例会
- 21日 第56回村民運動会
- 22日 生坂農業未来創りプロジェクト会議
- 23日 全国町村議会議長・副議長研修会(東京都)
ゼロカーボン推進プロジェクト会議/いくさかの郷定例会
- 25日 初当選議員研修会(長野市)
- 26日 地域支え合い推進会議
- 29日 戦没者追悼式/遺族会総会
- 30日 社会福祉協議会理事会
- 31日 安筑防犯協会理事会・総会(安曇野市) / 例月出納検査

6月

- 2日 県道上生坂信濃松川停車場線整備期成同盟会現場報告会
議会運営委員会/観光協会総会
- 3日 小学校運動会
- 4日 体育協会前期ゲートボール大会
- 8日 議会全員協議会

- 13日 6月定例会開会
- 14日 本会議(一般質問)
- 15日 本会議(一般質問)
- 16日 総務建経常任委員会
- 19日 社会文教常任委員会
- 20日 新人議員広域連合一部事務組合視察研修
- 21日 本会議(追加議案)閉会/議会全員協議会
- 22日 東筑摩郡議会議長会臨時会(松本市)
- 23日 農業公社評議委員会
- 27日 例月出納検査
- 28日 議会だより編集委員会
- 29日 生坂農業未来創りプロジェクト会議/
ゼロカーボン推進プロジェクト会議
- 30日 松本広域連合議会運営委員会/
町村監査委員協議会臨時役員会/
議会だより編集委員会

7月

- 2日 消防ポンプ操法大会・報告会
- 3~5日 行政視察研修(北海道)
- 10日 議会全員協議会
- 11日 穂高広域施設組合全員協議会臨時総会/
絆づくり支援金事業選定委員会
- 13日 議会だより編集委員会/長和町議会視察対応
- 14日 議員研修会(松本市)
- 18日 やまなみ荘定例会/
松本佐久連絡道路期成同盟会総会(佐久市)
- 19日 いくさかの郷定例会
- 20日 いくさかマル得商品券スーパープレミアム販売セレモニー
- 21日 夏の交通安全やまびこ運動出陣式
大町ダム等再編事業促進期成同盟会総会(大町市)
松本広域連合臨時議会(松本市)

新しい議員を 紹介します!!



この4月23日の補欠選挙で新たに2名の仲間が増えました。
議会議員としての知識とルールを学んで議員活動を行って頂き、村・村民の為に共に頑張っていきたいと考えていますので、引き続きのご支援ご協力をお願い致します。
今回は新人2名に、これからの活動に対する意気込みを皆様に知ってもらう為、特集ページを設けました。

(議長 太田 譲)



島 幸恵です。

生坂村に移住して4年目になりました。これまで、ジェンダーギャップを感じて生坂村女性の会に入会し、活動してきました。今年度の日本の「ジェンダーギャップ指数」は、過去最低の146ヶ国中125位です。小さな村からでも、誰もが生きやすい世の中になるような行動や、発信をしていきたいです。また、なるべく環境に負荷をかけない生活を目指して、過去に有志で映画会を開きました。生坂村は脱炭素先行地域に採択され、二酸化炭素の排出を削減するための事業をしていきます。化石燃料の使用を減らし、二酸化炭素の削減を目指すことは、地球規模で広がる温暖化を食い止めるために大切なことです。同時に、地球規模で広がる環境汚染についても考え、生物多様性を守る行動もしていきたいです。生坂村の子どもたちのために、美しい自然を守っていきたいです。議員になって、今までいきあえなかった方といきあうことができたり、行ったことのない所に行ったりすることができて、とても嬉しいです。声をかけていただくこともあり、村の皆さんのあたたかさを日々実感しております。皆さんのお話を伺ったり、皆さんの声をなるべく村政に届けたりして、生坂村がもっと住みよい村になるように頑張っていきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。



山本吉人です。

私は、この村に生まれ育ちました。手作りの家と小さな工房で仕事をしています。こんな不便な所で大丈夫かと不安でしたが、視点を変えて生活してみると、田舎も都会もあまり関係ないと気づきました。田舎生活は、都会生活と比べると確かに不便ではあります。しかし、田舎でしかできないこともたくさんあります。生坂村での生活はそんなメリット、デメリットを正

しく理解すれば、他の市町村にも負けない生活拠点になると思います。

生坂村も日本全国の市町村と同じく、人口減少が大きな問題になっています。加えて、高齢者の比率が大きくなり、これからますます地域作業等で高齢者の方の負担が大幅に増えていきます。今こそ若い世代の方が先頭に立ち、新しい視点で村づくりに参加して活動してもらいたいと私は考えています。

私は、議員として若い世代の方への村政参加を応援するとともに、未来の若者の活動に協力、参加もしていきたいです。

若者たちの未来を明るくする村政を目指し、ともに頑張りましょう。

表紙のひと言

議会視察（北海道鹿追町・浦幌町）

表紙の写真は、7月3日から5日まで、議会で鹿追町に視察に行った時のものです。鹿追町は、バイオガスプラントを核とした地域資源循環型のまちづくりを推進し、先進的に環境に配慮したまちづくりを進めています。牛の糞尿を発酵させたメタンガスから発電し、売電したり、メタンガスの一部から水素をつくり、水素で動く自動車を10台公用車として使ったりしています。また、生坂村がこれから取り組むマイクログリッド（自営線ネットワークシステム）を構築し、公共施設を繋いで再生可能エネルギー100%の電気を活用しています。これにより、CO₂の削減、災害対応能力の向上、光熱費の削減が実現しています。自営線と蓄電池の導入費用の大きいことに驚きました。

また、人口減少が多くの地域で問題になっている中で、浦幌町では、20代の若者の移住が増えています。町では志をもって来た移住者を、地域ぐるみで関わっているそうです。移住者が事業を興し

たり、町のことを発信したりして、観光客誘致にも繋がっているとのことでした。学校では、地域の良さを学び、地域のためになることを提案する「うらほろスタイル」という取り組みがなされて、子どもたちの提案に大人も真剣に向き合い、実現できたことがたくさんあるそうです。



村民の声

移住して3年目

細井 絵梨香



子育ても終わり、人生のターニングポイントとして、生まれ育った地域を離れ、夢であった「口八又な生活」をしようと、近隣で移住先を探していたところ、いつの間にか主人が空き家バンクで今の家に目星をつけていて、即交渉あつたと言つ間に生坂村移住が決定しました。

主人任せだったので、生坂村をよく知らない私の第一印象は、安曇野、松本と長野市の間にある、大きなおやきが有名な所...でした。

不安もありましたが、下生野区や、常会の皆様も優しく理解のある人が多く、農業においては時に厳しく、そして親身に相談に乗ってくれたり、お野菜も頂いたり、私達夫婦は近所の皆様のおかげで、今では楽しい「生坂村ライフ」を送れていると思います。

また移住一年目に選挙がありました。微力ではありますが、携わり経験させてもらい、選挙を通じて、村の事を知り、考える事もできました。

市では普段議員さんに会う事も話すことも中々ありません。ですが、生坂村では議員さんと直接話す機会が多々あ

ります。勿論、話したからといって全てが即解決することはなかなかありません。

ですが、地域の人々の声を聞いて、届けて、考えてくれる。非常にありがたく、心強く感じています。

個人的には身近に感じる分、無茶な提案をしまつて困らせることも時折ありますが、それらの事を無視することも無く、真摯に対応してくださるので、私自身も「生坂村民」として、これからも協力していきたいと思っています。

また、生坂村には身近に話せる「やまびこ」や、「村政懇談会」等があり、直接意見や提案を伝える場所や機会があります。

勿論、村民一人一人全ての意見が反映される事は難しいとは思いますが、議員さんも思う事、考えていることが、議員だからこそ実現できない現実もあると思います。村民が参加できる場での意見・提案は、これからも実現に向けて検討して頂けたらと思います。

※昨年からは軒先で居酒屋をオープンしました。往年のLPレコードなどを聞きながらお楽しみください。

山彦だよ

運動会

村の音頭で

締めくくり

カンナ

コロナも5類となり、村でも行事が復活して楽しくなってきました。お忙しい毎日とお察しいたします。

「山彦」は健在です。皆さんを待ちわび首が長くなりました。出張「山彦」も準備しています。是非「ヤッホー」と呼び掛けてください。飛んでいきます！

典子



表紙の写真のお願い

議会だよりの表紙の写真は、イベント等で議会編集委員が撮影した写真を許可なく掲載をする場合がありますが、掲載許可のご協力をお願い致します。

編集後記

「コロナ感染症対策も5月から2類相当から5類に引き下げられ、社会の動きも活発になってきました。当村の道の駅ではテレビの影響で「灰焼きおやき」の売れ行きが好調で音をあげている。「熱い仕事は大変だ」「将来はロボットで製造が可能か真剣に考える時期が来た？」

6月議会は、4月に行われた議会議員補欠選挙で当選された2名の新議員が加わり、8名全員の出席となりました。

新議員による一般質問では、今注目されている生坂村脱炭素について新人らしく積極的に発言されておりましたが、私の初めての一般質問では十分に対応が出来ず、喉が渴いたのを思い出した。

(平田勝章)

編集・発行責任者

議長 太田 讓

編集委員

委員長	藤澤 幸恵
委員	山本 吉人
委員	島 幸恵
委員	字引 文威
委員	平田 勝章